

ヲ以テ有耶無耶ノ中ニ果條件ニテ解雇ノ通知ヲ得シタリ  
會社ノ責任者ハ如斯不徹底ニシテ其ノ處置當ヲ得ズ生  
半ハ死後同類ヲ携フヘ一瞬時又亦ニズル取ハテレカ故ニ一同  
果補次意ニ別記ニテ余ノ要求ヲ賢明ニル株主諸君ニ  
繼リ御同情アル處決ヲ歡迎スルモノナリ

休職中ハ日收ノ金額支給ノ件

理由 此ノ休職ハ會社ナリ余令ニシテ職ニヨリノ要求ニテ  
之ニ対シ會社ハ日收ノ金額ヲ支給スルニ由リ吾等ハ休職中  
虽ニ生活費ハ半減スルヲ得ズ但シ又物質以外ニ精神的不  
安モナリ爲メニ此際御同情ヲ以テ當方歡迎旨リ御支給  
方御益護相願度

解雇手當支給ノ件

一十一年勤続者ニ許シテ八月收ノ計月分ノ割合ヲ以テ計算シ  
次上勤続年間ノ事ニ果進計案決ニヨルモノトス  
理由 右取額ハ不富ノ如クニ感カレモ吾等ノ月收ハ低額ニシテ一般務  
働者ノ生活ニ比シ余裕アルモノニアラズ願シバ真時鉛筆創之當  
時ヨリ現在復業シツアル職中ニハ約三ヶ年間ノ勤続  
者アルニ此間個人經營ヨリ會社組織トナリ或ハ個人ニ與  
リ轉々トシテ大正十四年四月現在ノ會社トナリシ爲メニ  
真時當時ヨリノ復業者ノ勤続年間ハ中断サレタ  
ルモノニシテ甚カ本文ニ於ケル解雇手當要求ハ真時、  
大和合併ノ日ヨリヲ意味スルモノナリ之ニ対シ會社產  
表ノ解雇手當支給方ニテハ到底生活ノ一端ヲモ補フ  
ヲ得ガレノミナラズ現今此ノ不景氣ニ際シテハ他ニ